

くまもと経済

3 2018
月号
VOL.441

表紙の人
Cover Story

中山 峰男 宗城大学学長
「SILC」新D号館で実学主義に磨き

特集 まち・観光・産業
復興から発展へ



「桜町」、4月中にも全160テナント内定へ 熊本市中心市街地再開発

インバウンド、震災前上回る勢い 県内観光

香梅が新工場、金剛、城野印刷所は近く完成 被災施設の完全復旧と新分野へ挑戦する県内企業

梅本 茂 くまもとDMC社長
宮崎 浩三 タマゴトマリインク社長

Leaders 熊本2018
2018 KUMAMOTO 熊本のリーダー群像146人

市内15社を子育て支援優良企業に認定



熊本市

▲熊本市内15社の企業が認定を受けた



▲認定式では各社の取り組みなどをスクリーンで紹介した



▲各社に認定書を授与した



▲熊本市役所内で開いた認定式



大西 一史
熊本市長

熊本市(熊本市中央区手取本町、大西一史市長)は1月29日、熊本市役所で熊本市内の企業15社を「子育て支援優良企業」に認定した。

「子育て支援優良企業」とは、子育てしやすい職場づくりの促進などを目的に、出産育児の休暇取得実績や就業継続率など19項目で評価し、市が認定する制度として平成27年度から創設。認定は①育児休業や子の看護休暇、産前、産後休業など子育てに必要な制度が就業規則等に規定されていること、②育児休業、育児時間、子の看護休暇、産前産後休業の取得実績がある、という基準を満たす企業を対象に、熊本市が独自に策定した審査基準に基づいて得点化。小企業(従業員10人から29人)中企業(30人から100人)大企業(101人以上)の3区分で、それぞれ上位最大10社を認定。昨年7月に常用雇用者数10人以上の市内4,788企業を対象に実施した実態調査(アンケート)において回答のあった熊本市内の1040企業について審査を経て、今年度は15社(小企業2社、中企業5社、大企業8社)を子育て支援優良企業として認定した。

認定式では大西市長が「経済環境や企業経営を取り巻く厳しい環境が続いている。こうした中で共働き世帯が年々増加する中、職場の理解や男性の家事育児の分担などの機運が高まっているものの、未だ仕事と家庭の両立が難しいという理由から退職する女性が存在しており出産育児に伴う女性の就労継続は依然厳しい状況が続いている。そのため企業が果たす役割は大きく、その取り組みは企業の将来的な成長・発展につながる大きな役割を担っている」と今後の熊本市が目指す子育てと仕事の両立が出来る環境整備に意欲を見せていた。今後認定企業は、熊本市の発行するパンフレットで取り組みを紹介、企業や大学などに配布しPRする。(認定企業は10ページに掲載)